

令和2年5月28日

府中市長 小野 申人 様

府中市総合計画審議会  
会長 渡邊 一成

令和元年10月18日付け府政第27号で諮問のあった府中市総合計画の策定について、次のとおり答申します。

1 答申事項

府中市総合計画の策定について

2 答 申

府中市総合計画審議会では、これまで4回の審議会及び1回の書面審議を実施し、審議を重ねてまいりました。

新たな総合計画の策定に当たっては、様々な課題に対して、府中市が持つ強みを活かした施策を講じていく必要があること、さらに新たな強みを持つ必要があることなどについても、活発に議論を行ったところです。

こうした議論を受け、府中市で取りまとめられた「第5次府中市総合計画案」については、適当と認め、ここに答申します。

なお、総合計画で示す将来像や政策分野、施策の方針については賛同した上で、次のことについては、委員から様々な意見があったことを踏まえ、今後進められる府中市議会での審議などを通じて、更に議論が深められることを期待します。

- (1) この計画により府中市が目指す姿、そのために取り組む重点的な施策、変えていこうとする府中市役所の意志など、より分かりやすく市民に伝えるために、表現方法などを工夫すべきであること。
- (2) 事業の実施に当たっては、人材や財源など限られた資源を戦略的かつ有効に投じていく必要があることから、市役所内だけでなく外部の知見も取り入れた事業のメリハリ、取捨選択をすべきこと。
- (3) 期間を10年と定めた計画であるが、今後、社会情勢のめまぐるしい変化が予想され、特に、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会構造の変化を見据え、状況に応じて柔軟に計画の見直しを行う必要があること。